

平成28年度 内閣府青年国際交流事業

第43回「東南アジア青年の船」 事業報告会



私たちの航海日誌

～発見の積み重ねが未来をつくる～



平成29年2月26日(日)

13:00~16:30 (受付開始 12:30)

【主催】

内閣府 / (一財) 青少年国際交流推進センター
日本青年国際交流機構 (IYEO)

【会場】

国立オリンピック記念青少年総合センター
国際交流棟1階 国際会議室 (東京都渋谷区)

【詳細・お申し込み】

一般財団法人 青少年国際交流推進センター 担当 田畑・武田

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町 2-35-14 東京海苔会館6階

TEL:03-3249-0767

Email:sseayp-report@iyeo.or.jp

URL:http://www.centerye.org/

参加費無料



お申し込みフォーム



発見

「東南アジア青年の船」事業を通じて、参加青年それぞれが様々な発見をしました。それは、国を代表する参加年としての発見、船という異空間の中で自分と向き合っで見つけた発見、海外青年との交流で見つけた発見、5か国で体験したホームステイでの発見など、この事業に参加したからこそその発見でした。

この報告会では、その発見の積み重ねを今後どのように活かしていきたいかを発表します。ご来場の皆さんに、この事業へ参加することで得られる経験や事業の魅力をお伝えします。

「東南アジア青年の船」事業とは

内閣府主催の青年国際交流事業の一環として1974年に始まり、今年度で第43回を迎えました。日本参加青年（39名）とASEAN（東南アジア諸国連合）各国の参加青年（280名）が、約10日間の日本国内活動の後、約40日間をかけて船で東南アジア諸国をめぐる。船内で共同生活をしながら、異文化理解促進・環境（自然災害と防災）・情報とメディアなど8つの分野のディスカッション活動や、各国の歌や踊りを交えた文化や社会事情の紹介、事業後の継続した社会貢献プロジェクトの企画などを行います。また、日本国内と東南アジアの訪問国では、表敬訪問、各種施設への訪問、地元青年との交流、ホームステイなどを行います。

報告会プログラム（予定）

- 開会式
- 「東南アジア青年の船」事業概要説明
「東南アジア青年の船」事業設立の経緯や目的、概要の説明を行います。
- パネルディスカッション
日本参加青年が、志望理由や事業を通しての発見、その後の変化や今後の展望について語ります。
- 平成29年度内閣府青年国際交流事業説明及び募集について
- 展示
日本国内活動、船内活動、訪問国活動について、写真や体験談を紹介します。
- 閉会式



フィリピン参加青年による伝統文化の紹介



インドネシアでホストファミリーと共に



船内でのディスカッション風景

会場

国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区代々木神園町3-1）

国際交流棟1階 国際会議室 <http://nyc.niye.go.jp/train>

アクセス

小田急線「参宮橋」駅下車 徒歩7分・東京メトロ千代田線「代々木公園」駅下車 徒歩10分

平成29年度日本参加青年募集案内

<http://www.cao.go.jp/koryu/>

東南アジア青年の船

検索 🔍



<https://www.facebook.com/sseaypjapan/> (平成28年度日本参加青年のページ)